

『いよいよ宮城野の里の支援に！』

今宮レポート第2弾♪

2日目 いよいよ宮城野の里への支援に…

坂クリニック新館（災害支援本部）で朝8時半からの全体朝礼に参加しました。9時から東京へ帰る支援者の方と一緒に民医連シャトルバスに僕と平元さん（寺井病院）は宮城野で下ろしてもらいました。

宮城野では、施設長の野口さんと事務局長？の海和さんが迎えてくれました。坂口さんより預かりもの、寄せ書きと写真とどけました。坂口さんとはお友達なんです。どうもありがとうございました…との事でした。

海和さんより、主な被災状況と宮城野の里の中の案内をしていただきました。宮城野の里の中事態は、大きな損傷なかったみたいですが、玄関前が沈下して大きな段差になっていたり、階段が一部欠けていたり…職員の方でも、被災された方ももちろんいて、なかなか現状、現実を受けいられない。復旧のめどがたらずライフラインが繋がらない、先が見えない不安がとても大きかったと。その中でも、民医連など横の繋がりがあったおかげで、支援物資やボランティアが来てくれて助かっている。との事でした。

僕たち支援者の任務は、①ケアハウスの食堂を借りてつくられた避難所（通称：まるふく）に避難されている方たちの援助。②併設するデイサービス、ショートへの支援。

まるふくに避難されている方は、計17名。トイレ時など介助に一部介助、見守りを要する方が何名かいますが意思ははっきりされていて、自立度がかなり高いです。皆さん、職員の方含めみんな良い方ばかりで暖かく迎えてくれました。明るくよく話してくれる方が多いです。支援前の想像では、入居者がごったがえして、大変っていうイメージでしたが、ゆったりと皆さんすごされていて、正直拍子抜けしてしまったのと、もっと大変な所があるだろうに、自分もゆったりと一緒に過ごしていいのかなと。

まるふくへ被災されている方の話を聞いてると笑顔で話されているけどこれから先の不安をもらされる方、夜になると精神的に不安が強くなり落ち着かず徘徊を繰り返す方など精神的なケアがとても大切なんだと感じました。

勤務時間はある程度決まっていますが、休憩は決まっておらず息抜きしたい時に状況見て入るみたいな感じです。初日は、朝9時半に着いて夜中の0時までまるふくで手伝いました。

3日目

勤務は9時半から4時まで、デイサービスだったんですが、朝7時からまるふくの朝食の手伝いのため、支援者みんな参加しました。（暗黙のルールで、夜勤以外のメンバーはどの勤務でも朝食の手伝いしてます。

デイサービスでは主にトイレの一部介助、見守り・入浴後の整髪・体操などしました。デイも基本的に自立度が高く、利用者に寄り添いコミュニケーションをとったりしていました。

デイサービス終了後、支援らしい支援ができました。

まるふくのAさん男性、車椅子利用者の車椅子の空気が全然ない事を発見！原因は虫ゴムだったのですが、予備なく...車椅子変更後フットレストが全然合っておらず、フットレスト調節しました。

また他の支援者（東京から来た田中さん）からその方の車椅子自走時の姿勢の悪さを指摘→変更後の車椅子もAさんは体格もよく合わず、良姿勢保持と、車椅子に何も敷いておらず、臀部の痛みを訴えられていたため支援物資の中から座布団を探す。結果見つからず、田中さんと支援物資の中からあるもので即席の座布団を膝掛けなどで作成滑り止めマットをも敷いて完全！Aさんからは前より大分楽になったと喜びの声が聞かれました。

20時にまるふくの全体会議後、3日目終了しました。

明日はショート行ってきます。

ご飯は利用者と同じ物、とっても美味しいです！！山下園長にお借りした食器大活躍！

さっき、初めて余震感じましたが、全然小さいです（初日の夜中もあったみたいですが、爆睡していて気づかず...）

文章めちゃくちゃでスママセン。わからない所は想像で...m(_ _)m

※写真はデイでカラオケ大会をしている様子です。

